

5 概 況

水道事業会計は、令和3年度から二ツ井・荷上場地区簡易水道事業を水道事業へ事業統合した。

水道事業会計の業務実績を見ると、当年度の給水人口は41,950人で前年度比1,626人の増、給水区域内普及率は93.5%で前年度比3.3ポイント減となっている。有収率は79.1%で前年度比0.1ポイント増となっている。また、施設利用率は54.3%、最大稼働率は65.6%となっている。

詳細については、「6 業務実績について」に記述している（P3～4）。

経営成績を見ると、当年度純利益は116,194,336円で前年度と比較して4,203,331円（3.5%）の減となっている。この主な要因は、営業費用の増によるものである。

詳細については、「7 経営成績について」に記述している（P5～8）。

財政状況を見ると、資産は有形固定資産の構築物の増により、前年度と比較して1,557,896,279円（12.5%）の増となっている。また、負債は企業債等の増により、前年度と比較して1,460,129,599円（18.6%）の増となっており、資本は純利益の計上、他会計からの出資等により97,760,680円（2.1%）の増となっている。

詳細については、「8 財政状況について」に記述している（P9～14）。

給水収益の収入状況を見ると、現年度分の収入率は98.7%で、繰越分の収入率は49.1%となっている。

詳細については、「9 収入状況について」に記述している（P15）。